

事務事業チェックシート

事務事業No 679 事業名 湊御殿管理運営事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業種別	継続		
事業期間	～		
事業実施の根拠法令	和歌山市文化財保護条例		
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	文化振興課	坂井 正二	435-1194
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		文化スポーツ費	
	目		湊御殿費	
	大・中事業		湊御殿事業	
	中事業		湊御殿管理運営事業	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か 市指定文化財(建造物)湊御殿を適正に維持管理する。		全体事業概要			
	庭園の維持管理。 建造物及び付属トイレの維持管理。 観覧料及び施設使用料の徴収。 (観覧料 一般100円、高校生以下は無料) (茶室使用料 9時～17時 20,570円 13時～17時 12,340円) (庭園使用料 9時～17時 1,540円)					
事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	観覧者数 8,043人	観覧者数 6,756人	観覧者数 8,200人			

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	13,498	13,241	13,261	13,057	13,368	13,159	13,376			
伸び率(%)	-	-	▲1.8%	▲1.4%	0.8%	0.8%	0.1%	▲100.0%	▲100.0%	-
人件費	正規職員	1,602	1,722	1,722	2,072	2,453	2,673	3,132		
	正規職員以外	7,679	8,316	8,316	8,203	9,146	9,629	9,180		
	小計	9,281	10,038	10,038	10,275	11,599	12,302	12,312		
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他	166	36	123	90	85	71	85			
一般財源(税等)	13,332	13,205	13,138	12,967	13,283	13,088	13,291			
所要人数(人)	正規職員	0.22	0.23	0.23	0.26	0.31	0.34	0.39		
	正規職員以外	4.56	4.56	4.56	4.56	3.99	4.08	3.8		
主な予算内訳	使用料及び賃借料(土地借上料)		5,550千円		植栽等委託料		2,355千円			

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 開場日数	日	目標値	366	365	365		
		実績値	366	365	365		
		達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標 観覧者数	人	目標値	10,000	9,000	9,000		
		実績値	8,043	6,756	8,283		
		達成度(%)	80.4%	75.1%	92.1%		
活動指標		目標値					
		実績値					
		達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	通年開場しているにもかかわらず、観覧者数は少なく、多くの人に来てもらえる仕組み作りが必要であった(平成23年度まで)。
見直し・改善内容	平成24年4月1日から、観覧料を半額(一般100円)にするとともに、養翠園・和歌山城・旧中筋家住宅・市立博物館への一週間内の入場者は湊御殿入場料を無料にし、入場者増をはかった。